

若村麻由美の劇世界

# 曾根崎心中

未来成仏 疑ひなき

恋の手本となりにつり



# 若村麻由美の劇世界

原文による語り芝居

## 曽根崎心中

近松門左衛門作

俳優若村麻由美は、独自の活動として自らの演劇人の根拠を深求し、新たな劇世界を創造する仕事を続けてきた。それが「若村麻由美の劇世界」である。

『曽根崎心中』は、元禄十六年(1703)大阪で実際に起きた心中事件を近松門左衛門が脚色、ひと月後には人形浄瑠璃で大当たりした。近松が若い男女の愛を純度高く凝縮させた当時の現代劇は、世話浄瑠璃と呼ばれ心中物の先駆けとなった。

若村麻由美という俳優わびおびによって、文楽とも歌舞伎とも違う形で近松門左衛門のドラマの本質が再生される。今回の演出では冒頭の「観音巡り」と最後の「お初心中道行」が円環して鎮魂の劇が完成する。

出演 若村麻由美 演出 笠井 賢一  
 黒衣 宇佐美雅司 照明 八木沢 淳  
 吹き物 設楽 瞬山 衣装 細田ひな子(六工席)  
 打ち物 橋 政愛 舞台監督 島本 和人  
 写真撮影 萩庭 桂太

(あらすじ)

観音巡り 天満屋の遊女お初は、田舎客に連れられ、流行っていた大阪三十三所の観音を巡る。お初は恋人徳兵衛との恋が叶うよう、三十三に身を変えて救ってくれる観音に一心に祈る。

生玉の場 巡礼を終えたお初は、生玉いくたま神社で思いがけず徳兵衛と再会する。叔父の醤油問屋で働く徳兵衛は、叔父夫婦が娘と結婚させ店を継がせるといふのを、お初ゆゑに断り、大阪の地は二度と踏ませぬと怒りを買った。これを聞いたお初は死をもつても愛を貫く決意をする。徳兵衛は叔父に返すべき結納金を親友九平次に騙し取られ袋叩きにされる。田舎客は預り者のお初に怪我をさせてはと駕籠かごに押し入れ天満屋に帰す。

天満屋の場 九平治に騙され、踏み叩かれた徳兵衛は死んで身の潔白をあかすと覚悟し、お初がいる天満屋に忍んでいく。お初は縁の下に徳兵衛を隠す。九平次が訪れ、徳兵衛の罪を言い散らす。縁の下で口惜しがる徳兵衛をお初は足で押し鎮め、徳兵衛に罪のないことを九平治に言い立て、足で互いの心中の覚悟を知らせあう。

心中道行 真夜中。お初と徳兵衛は天満屋を抜け出し、曽根崎の森で心中をとげ、恋の手下となるのだった。

2020年

12/17(木) 19時開演

12/18(金) 12時開演

16時開演

各回40分前開場

6000円(税込) 全席指定

鑢仙会能楽研修所

〈交通〉地下鉄表参道駅下車  
(銀座線・千代田線・半蔵門線)  
A4出口より徒歩3分  
〒107-0062  
東京都港区南青山4-21-29  
TEL03-3401-2285

※駐車場はございません。

お申込・お問合せ  
アトリエ花習

TEL 090-9676-3798  
FAX 044-989-0133  
Eメール mail@atelierkashu.com

制作 アトリエ花習  
協力 トライストーン・エンタテイメント  
主催 ProjectMode

◎会場入口でお履物を脱いで頂き、2階客席へエレベーターはございません。◎全席座椅子付き◎客席は定員の50%以下◎検温消毒マスク着用ほか感染防止対策への協力をお願い致します。

●「若村麻由美の劇世界」公演詳細  
●関連作品「古典を今に」  
12月13日(日)~19日(土) 有料配信詳細  
https://www.mwo-select.com/

